

常 大 建 第 4 8 1 号

平成 20 年 10 月 21 日

国土交通省道路局長 様

常陸大宮市長 三次 真一



今後の道路行政についての意見・提案について

このことについて、別紙のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

常陸大宮市御前山地域は、茨城県の西北部に位置し、水戸市より北へ25kmの地点にあり栃木県茂木町に接しており、中央を那珂川が西から東へ貫流し自然豊かな地域です。

地域の道路網は、東西に走る国道123号を中心に主要地方道3路線、一般県道5路線を軸として、主要市道15路線で構成されています。

様式 ②

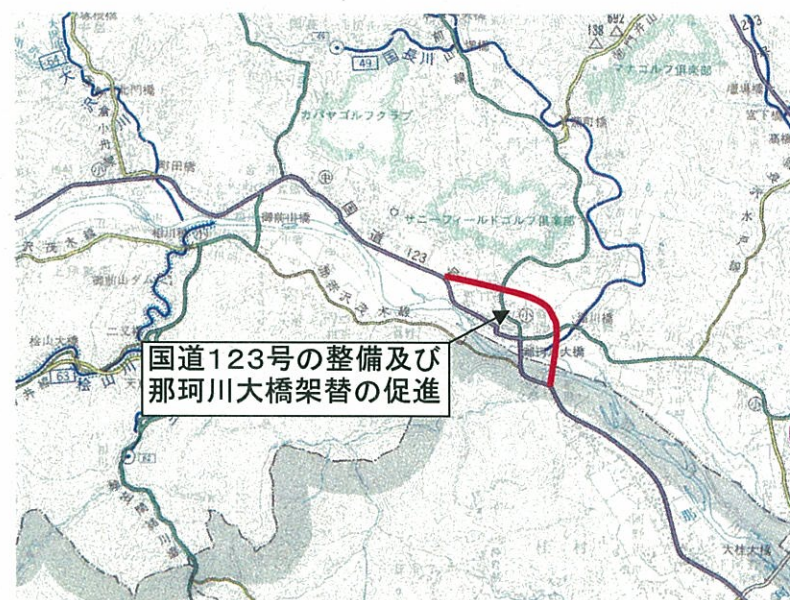
茨城県常陸大宮市

○課題

御前山地域の国道123号は、平成16年度より県事業の「合併市町村幹線道路緊急整備支援事業」で御前山地域の市街地のバイパス計画を進めておりますが、那珂川大橋については、幅員が狭く大型車同士の交互通行が困難な状態にあります。

課題としては、国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進が挙げられます。

位置図



今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

常陸大宮市の県道那須烏山御前山線は緒川地域から水戸方面へのアクセス道路として重要な幹線道路であります。本区間は屈曲狭小なため車両の通行に支障を来しており、通勤通学の時間帯には、交互通行がままならない状況であります。

また、本道路と平行に走る一級河川緒川及び国長川は、大雨による増水で危険水位を超えて、道路の冠水を引き起こしている状況であります。

様式 ②

茨城県常陸大宮市

○課題

常陸大宮市緒川地域の県道那須烏山御前山線の道路改良事業及び一級河川緒川・国長川の河川改修事業の同時施行が不可欠であるため、道路・河川一体となった事業促進が挙げられます。

位置図



今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

茨城県常陸大宮市

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

国道118号線につきましては、水戸市から常陸大宮市を経て福島県に至る主要幹線道路です。常陸大宮市から水戸方面は、自動車交通量が多く、朝夕の通勤時間帯や観光シーズンに交通渋滞が発生し、周辺住民や観光客の円滑な交通に大きな支障となっております。

- ・地元住民の渋滞解消の強い要望がある。
- ・通勤時間帯の渋滞による周辺住民の環境悪化。

○課題

国道118号線については、用地買収も進み工事に着手されておりますが、毎年の事業費が少なく小規模な工事となっております。
本路線について、早期に交通渋滞の解消と適切な地域道路ネットワークの形成を図る観点から、更なる事業促進を要望するものです。

位置図